

物流業界の貨物列車の役割に関する研究

【目次】

はじめに	第4章 トラック輸送について
第1章 物流とは	第1節 トラック輸送の定義
第1節 物流の定義	第2節 トラックの歴史
第2節 現在の物流の現状	第3節 貨物列車との比較
第2章 貨物列車とは	第5章 他の輸送手段と所要時間及び運賃の比較
第1節 貨物列車の現状	第1節 所要時間の比較
第2節 JR貨物の変遷	第2節 運賃の比較
第3節 臨海鉄道及び私鉄の貨物列車について	第6章 環境に対する影響の比較
第4節 世界の貨物列車事情	第7章 貨物列車の課題
第3章 貨物駅のネットワークについて	おわりに
第1節 貨物駅の種類	引用文献
第2節 現行の貨物駅	

【目的】

現在の私たちの生活において、物流が必要不可欠である。現在物流の手段としては、トラック輸送、内航海運輸送、鉄道貨物輸送、航空輸送の4種類がある。現在はトラック輸送が物流業界の中でほとんどの割合を占めているが、鉄道貨物輸送は1%にも満たない。なぜそのような状況になったのか、貨物列車の現状や課題について他の輸送手段との料金及び所要時間の比較をして検討した。

【方法】

関連文献、インターネットなどによる情報の収集・分析を行い、鉄道貨物輸送の利用率が低い理由を考察した。

【結果】

資料を比較、考察した結果、航空貨物輸送を除いては、料金・所要時間ともに著しい差はなかった。それにもかかわらず鉄道貨物輸送の利用率が低いのは、現在荷主側がジャスト・イン・タイム方式により生産等を行っているが、鉄道には時刻表が存在し、臨機応変には対応できないためではないかと考えられる。しかし、世界規模での問題である環境問題を考えると、トラック輸送を極力抑え、最も環境に優しい鉄道輸送を積極的に利用し二酸化炭素の削減に対し努力しなければならないと考えた。

【参考文献】

- 日本貨物鉄道株式会社、『2007JR貨物時刻表 平成19年3月ダイヤ改正』。
- 竹島紀元、『鉄道ジャーナル2005年5月号』、(株)鉄道ジャーナル社、2005年。
- 齊藤実、『<業界の最新常識>よくわかる物流業界』、(株)日本実業出版社、2003年。
- 総務省統計局ホームページ、<http://www.stat.go.jp/>、2008年10月25日。
- 小林俊一、『実務入門 図解 よくわかる物流のすべて』、日本能率協会マネジメントセンター、2007年。
- 近藤親司/保月滋、『別冊ベストカー THE 貨物列車』、株式会社三推社/株式会社講談社、2002年。
- 日本の鉄道貨物輸送、<http://homepage1.nifty.com/vswww/rekisi/nenpyou.html>、2008年10月22日。
- JALCARGO ホームページ、<http://www.jal.co.jp/jalcargo/>、2008年10月28日。
- 日本通運株式会社ホームページ、<http://www.nittsu.co.jp/>、2008年10月31日。
- 日本貨物鉄道株式会社ホームページ、<http://www.jrfreight.co.jp/>、2008年11月30日。
- 舘澤貢次、『クロネコヤマトの魔術商法』、エール出版社、2000年。